

市制 70 周年記念事業の記録



■ 記念事業の基本構想

<市制 70 周年記念期間>

令和 3（2021）年 1 月～令和 4（2022）年 3 月

※昭和 26（1951）年 3 月 1 日に市制を施行し、「拳母市」が誕生。

<基本理念>

「WE LOVE とよた」、「SDGs」、「レガシー」の 3 つのテーマを掲げ、各種事業の実施を通じて、これらのテーマを推進し、ミライに向かって持続可能なまちづくりを目指す。

<3 つのテーマ>

（1）WE LOVE とよた

「市の歴史を知る」「文化芸術に触れる」「スポーツをみんなで楽しむ」などを通して市の魅力を再認識し、郷土愛の醸成につなげる。

（2）SDGs

主に以下の目標を推進。



（3）レガシー

歴史、文化、自然、市民活動などの魅力を、記録・記憶に残し、後世に引き継いでいく。

<市制 70 周年記念ロゴマーク>

“共に花ひらく”をテーマに、ひとつひとつの花びらが相互に重なり合うことで、新たな色を生み出し、未来に向けて大きな花を開かせていくことをイメージ。また、色・デザインは、明るい豊田の町を意識し、明るさ、優しさを表現して制作された。
※色・デザインは、公募により 699 点の中から選考。



山田 成朗さん（益富中学校 1 年生）の作品が選ばれました。

～ロゴマークの活用事例～

個人・団体名	活用方法
株式会社ネオパブリシティ	ムック『豊田市デイズ』vol.3 に掲載
ゆめパレット	イベント等のチラシに掲載
益富地区区長会	自治区・コミュニティの回覧物や配布資料に掲載
語人 サヤ佳	語りの活動報告のレポートやイベントチラシに掲載
石野町自治区	自治区配付資料に掲載
羽根田 菖橋	書会展案内ハガキ、学生部毛筆作品展示に掲載
ひまわり大作戦実行委員会	70 人でひまわり YOGA 等で掲載
公益財団法人 豊田市文化振興財団	公演のチラシ及びパンフレットに掲載
森本 陽子	豊田市を題材にした小説の帯に掲載

■市制 70 周年記念シンボル事業

3つのテーマを象徴し、市制 70 周年のスタートを飾る事業として以下の3事業を実施。

事業名	WE LOVE とよたフェスタ 【経営戦略課】
開催期間	令和3年2月6日(日)～令和3年3月7日(日)
開催場所	市内各所
	<p>世界一わくわくするたのしいふるさとを目指し、とよたをもっと面白くしたい、楽しみたい、人と人とのつながりできる、すべての参加者で作りあげる「おまつり」。コロナの影響も踏まえ、時間、場所、手法を分散して以下のプログラムを開催。</p> <p>(1) 個別の市民団体によるイベントの開催 (40プログラム)</p> <p>(2) とよしば、新とよパークを会場とした WE LOVE とよたフェスタ(ワークショップ、ものづくり体験、パフォーマーによるステージ等)の開催(メイン開催)(延べ60団体)延べ1,500人が参加</p> <p>(3) オンライン番組の配信(個別の市民団体の活動紹介等)(25団体)</p> <p>(4) 参合館アトリウムを使用したパネル展示(36団体)</p> <p>(5) 市民団体の紹介及び市長インタビュー等掲載パンフレットの市内配布(3万部)</p> <p><同時開催></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ WE LOVE とよたアワードの表彰 ・ WE LOVE とよたサポーターズによるステージイベントの開催 <p>●他の市民団体等の活動内容を知り、触れ、体験することで団体同士、参加者同士による新たなつながりが生まれ、とよたの魅力の発見につなげることができた。</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;">     </div>

事業名	SDGs 国際会議 【未来都市推進課】
開催日	令和3年3月6日（土）
開催場所	オンライン
	<p> “Think SDGs2021” International Conference in Toyota - Smart and Sustainable Communities with COVID-19 - 新型コロナウイルスが生んだ新たな生活様式やつながりで “New Normal”の世の中を私たちは、どう暮らし、生きていくのか？ 豊田市のSDGs重点分野（モビリティ・エネルギー・ウェルネス）を中心に様々なステークホルダーと一緒に国内外の事例を踏まえて考える会議を開催し、広く一般にも公開。 </p> <p> 共催：国際連合地域開発センター（UNCRD） 後援：内閣府、環境省、国土交通省、経済産業省、外務省、愛知県、名古屋市、豊橋市、岡崎市、（一社）イクレイ日本、（公財）地球環境戦略研究機関（IGES） </p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライブ配信延べ視聴者数：3,625名（日、英、手話合計） <p> ●YouTubeによる配信をしたことで、国内47都道府県及び海外20か国と広く豊田市のSDGsについて発信できた。 </p> <p> ●各分科会で国内外の多くのステークホルダーに参加してもらい、行政だけでなく、多様な主体が協力してSDGsを推進していく機運を醸成できた。 </p> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;"> <p><国際会議の様子></p>  </div> <div style="text-align: center;">  </div>

事業名	市制 70 周年記念式典 【秘書課】
開催日	令和 3 年 3 月 6 日（土）
開催場所	豊田市コンサートホール
	<p>招待者約 190 人に参加いただき、名誉市民（1 人）及び市政功労者（2 人）の推挙並びに特別功労賞の授与（6 人）、豊田市表彰（320 人・25 団体）及び市制 70 周年記念表彰（5 人・7 団体）を実施。</p> <p>（1）アトラクション（10 分） 豊田市コンサートホール オルガニスト 徳岡めぐみ氏</p> <p>（2）名誉市民章、市政功労章、特別功労賞、市表彰等授与（40 分） ア 豊田市名誉市民推挙 藤嶋 昭氏 イ 豊田市市政功労証授与 ウ 豊田市特別功労賞授与 エ 豊田市条列表彰授与 オ 豊田市制 70 周年記念表彰</p> <p>（3）デトロイト姉妹都市提携 60 周年記念プログラム（15 分） オープニング映像、デトロイト市長ビデオメッセージ、派遣学生からのメッセージ</p> <p>（4）豊田市制 70 周年記念映像上映（20 分）</p> <p>・招待者約 190 人、YouTube 再生回数 2,400 回以上</p> <p>●招待者の制限や式典のライブ動画配信を行うなど、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底した式典運営を行い、市の発展に貢献いただいた多くの皆様の功績を顕彰することができ、市制 70 周年の節目を祝うにふさわしい式典を開催できた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div data-bbox="435 1630 624 1816" style="text-align: center;">  </div> <div data-bbox="662 1267 1517 1906" style="text-align: center;">  </div> </div> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">〈式典の様子〉</p>

■ そのほかの記念事業（全 13 事業）

事業名	市制 70 周年記念誌・記念映像 【市政発信課】
開催日	令和 3 年 3 月発行・制作
	<p>豊田市の 70 年の歴史や取組を振り返るとともに、目指す将来都市像を市民と共有することで、市への愛着を高めるために、記念誌や記念映像を制作し、ホームページや YouTube 等で広く情報を発信。また、市ホームページ内に市を紹介するページを新設し、市の歴史や人物を分かりやすく紹介。</p> <p>・制作物：記念誌 本編（A4 判 88 ページ、800 冊） 概要版（A4 判 38 ページ 2,000 冊） ：記念映像 本編（20 分）、ダイジェスト版（2 分） 対応言語：日本語、英語、中国語、ポルトガル語、スペイン語</p> <p>●市制 70 周年記念式典での披露やホームページ等で広く周知したことで、市民が郷土愛を再認識する機会を創出できた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p><記念映像></p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div>


事業名	オリジナル フレーム切手「豊田市制施行 70 周年記念」の販売 【経営戦略課】
開催期間	令和 3 年 3 月 1 日（月）～ 販売開始（600 部） 令和 3 年 4 月 5 日（月）～令和 3 年 8 月末 再販（400 部）
開催場所	市内全郵便局（42 局）
	<p>日本郵便（株）と共同でオリジナル フレーム切手を制作。</p> <p>市内を 7 地区（旧豊田市、藤岡、小原、旭、足助、稲武、下山）に分け、各地区から 1 点ずつ+スタジアム・おいでん花火+市制 70 周年記念ロゴの 10 作品で販売。</p> <p>切手に掲載する写真を市民から募集（令和 2 年 9 月 18 日（金）～令和 2 年 10 月 31 日（土）。応募総数 136 点、44 名）。選考の結果、5 名が入賞。</p> <p>販売開始から 1 週間で 600 部が完売。400 部を追加して再販もすべて完売。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●多くの方々に市の魅力を感じてもらうことができた。 ●ずっと手元に残る記念品として、市民も参加し、多くの人に関わりながら素晴らしい作品を制作することができた。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  </div>



事業名	名古屋グランパスホームタウン事業 【スポーツ戦略課】
開催期間	令和3年4月1日(木)～令和3年12月28日(火)
開催場所	豊田スタジアムほか
	<p>(1) グランパスファンの市民を増やす</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平日開催での来場促進 ・豊田スタジアム会場 20 周年事業 ・グランパスボールクリニック ・親子観戦無料招待 ・グランパスデザインのナンバープレート ・ユニフォームへの市名標記 ・応援 T シャツ着用 ・ホームタウンコーナー運営 ・互助会の割引チケット ・豊田プラザの店舗窓装飾 ・公共施設の自動販売機ラッピング <p>(2) 楽しめる工夫により観戦者を増やす取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちなかとの連携 ・スタジアム屋根工事足場のラッピング ・宿泊施設との連携 ・スタジアムアベニュー装飾 ・マンホールプレート装飾 ・市内事業者のコンコース内出店 ・グランパスロードの装飾 ・まちなかのごみ拾い事業 ・選手等身大パネルの製作 ・経済波及効果調査の実施 <p>(3) グランパスの勝利を後押しする取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スタジアム利用調整の優先 <p><開催試合></p> <p>2021 シーズン J1 リーグ ホーム公式戦 19 試合 (第 5 位)</p> <p>2021J リーグ YBC ルヴァンカップ 1 試合 (優勝)</p> <p>AFC チャンピオンズリーグ パブリックビューイング 1 試合 (準々決勝敗退)</p> <p>天皇杯 2 試合 (準々決勝敗退)</p> <p>●総来場者数：229,578 人(2021 シーズン J1 リーグで年間入場者数 1 位を記録)</p> <p>●シーズンを通した最多入場者：27,079 人 (12/4 浦和レッズ戦)</p> <p>●ホーム公式戦 1 試合 (10/24 ヴィッセル神戸戦) で、1 人当たり約 13,000 円の経済波及効果を記録。</p> <p>※新型コロナウイルスの影響によるスタジアム来場人数制限等あり。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">    </div>

事業名	ボイス+パレルモ展 【美術館】
開催期間	令和3年4月3日（土）～令和3年6月20日（日）
開催場所	豊田市美術館 展示室 1, 5～8
	<p>ドイツ 8 か所の海外借用を含む計 130 点の作品展示。</p> <p><関連事業></p> <p>①オンラインレクチャー（令和3年5月12日（火）、聴講者数：1,165回）</p> <p>②オンラインレクチャーシリーズ（令和3年6月12日（金）、6月13日（土）、6月18日（木） 総聴講者数：1,421回）</p> <p>③ガイドボランティアによる一点トーク（参加者数：22人）</p> <p>④中心市街地、各種事業者等との連携（タクシー協会との連携、館内レストランとのコラボデザート（234食）、名鉄との連携「EMOTION!豊田」、中央図書館での特集展示（令和3年6月1日（月）～6月30日（火））、各種割引券による利用促進）</p> <p><同時開催> 「日本とドイツの現代美術」（展示室 2-4）</p> <p>・ 観覧者数：12,539人</p> <p>・ 図録販売数：594冊</p> <p>●当館のコレクションの主要な核である両作家の展覧会をこの規模で実現できたことは、良質なコレクションを備え、それを足掛かりに企画展を構成していこうとする当館の姿勢を具現する格好の機会となった。</p> <p>●記録的な写真や資料が充実したカタログは全国カタログ展審査員特別賞を受賞するなど、広報物や会場内のサインの統一感などに対し高評価を得た。</p>    




事業名	とよたアート応援プロジェクト 【文化振興課】
開催期間	令和3年4月～令和4年3月
開催場所	市内各所
	<p>文化芸術活動者の支援、市民が文化芸術に触れることができる機会を重点的に創出するため、以下の6事業を実施</p> <p>(1) とよたデカスプロジェクト：14件のアートプロジェクトを支援し、「デカス芸術祭」を開催</p> <p>(2) こども創造劇場／演劇ファクトリー特別プログラム：豊田市民文化会館（小ホール）にて、演劇公演（特別演目）を開催</p> <p>(3) とよた市民アートプロジェクト：まちなかの公共空間や店舗（12か所）で市民公募によるアート作品の展示等を行う「とよたまちなか芸術祭」を開催</p> <p>(4) 名フィル特別コンサート：豊田市コンサートホールにて、市制70周年記念コンサート「オペラ紅白歌合戦」を開催</p> <p>(5) 郷土作家美術品購入事業(市民参加ワークショップ／取得作品による展覧会)：7作家による作品制作ワークショップ及び46作家による展覧会を開催</p> <p>(6) おいでんアート体験フェア：豊田市民文化会館にて、文化団体等による体験ブース等を出展</p> <p>・参加者数：11,721人</p> <p>●コロナ禍において活躍機会が減少していた美術、音楽、演劇など様々なジャンルの文化活動者を支援し、活動の継続・発展を促した。</p> <p>●鑑賞や体験など、多くに人が気軽に文化芸術に触れることができる機会を創出した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>とよたデカスプロジェクト</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>郷土作家美術品購入事業 (市民参加ワークショップ)</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>とよた市民アートプロジェクト（とよたまちなか芸術祭）</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div>

事業名	とよたアニメシネマフェスティバル 【商業観光課】
開催日・開催期間	(1) 令和3年7月11日(日) (2) 令和3年10月7日(木)～10日(日)
開催場所	(1) 豊田スタジアム (2) 豊田スタジアム、イオンシネマ豊田 KiTARA
	<p>(1) PRE-FESTIVAL 映画『神在月のこども』主題歌レコーディング&初号試写会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映画『神在月のこども』初号試写会 ・主人公「カナナ役」蒔田彩珠、幼少期「カナナ役」新津ちせ ほか出演者が登壇 ・主題歌『神無-KANNA-』生歌唱 (miwa、豊田市少年少女合唱団) ・主題歌『神無-KANNA-』参加型レコーディング (参加者による手拍子など) ・2,000人が参加 <p>(2) 記念アニメ&制作スタジオ作品上映</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年10月8日(金) 公開の劇場オリジナルアニメーション「神在月のこども」をフェスティバルのメインコンテンツとし、舞台挨拶付特別上映を実施するほか、多彩なアニメ作品を屋内外で上映 ・4日間で計188人が来場 <p>(3) スペシャルムービーの制作・PR</p> <p>82秒のアニメ映像を制作し、地上波やシネアド広告を実施</p> <p>●映画作りを通して、ものづくりの良さや素晴らしさを体感していただいた。</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;">      </div>


事業名	モンドリアン展 【美術館】
開催期間	令和3年7月10日（土）～令和3年9月20日（月）
開催場所	豊田市美術館
	<p>デン・ハーグ美術館所蔵のピート・モンドリアン作品 50 点に関連作家の作品・資料を加えた約 70 点を展示。</p> <p><関連事業></p> <p>①トーク記事配信（令和3年8月9日（月）、20人聴講）</p> <p>②「みる×かんがえる×つたえる」鑑賞会（参加者数 83 人）</p> <p>③中心市街地、各種事業者等との連携（タクシー協会との連携、割引券による利用促進、ワークフレンドとよたでのチケットあっせん、飲料水販売、豊田市中央図書館での特集展示、まちなかサポーター店との連携）</p> <p><同時開催></p> <p>①「寺内曜子 パンゲア」（展示室 2）</p> <p>②コレクション展「ひとつの複数の世界」「美術でデザイン」（展示室 1, 3, 4）</p> <p>③コレクション展「モンドリアンと同時代の日本美術」（展示室 5）</p> <p>・ 観覧者数：35,880 人</p> <p>・ 図録販売数：1,688 冊</p> <p>●20 世紀初頭のモンドリアンの活動を通覧する機会としておおむね好評を得られた。</p> <p>●アンケートや SNS には、関連したテーマのコレクション展とあわせて見ることで美術館全体として満足したという声が見られた。</p> <p>●会期中の会場運営は、感染症予防のため館内での三密回避、消毒の徹底など、委託者との連携を緊密にして安全な会場運営に努めた。また講演会などの催しは、定員制・予約制、オンライン配信など複数の対応策で実施し、好反応を得た。</p>
	

事業名	市制 70 周年記念ドラマ「我が家の夏～リバー・サイド・ファミリー～」【経営戦略課】
放映日	令和 3 年 9 月 12 日（日）（東海テレビ）
撮影場所	広瀬やな、旧三河広瀬駅、猿投地区の桃畑、矢作川など
	<p>豊田の夏を舞台に、就職活動中の主人公を軸に家族の絆、ふるさとのぬくもり、若者の成長を描くホームドラマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出演者：平祐奈、イッセー尾形、藤田弓子ほか ・放送：令和 3 年 9 月 12 日（日） 13:25-14:50 再放送：令和 3 年 11 月 17 日（水） 0:55-2:20 ・香嵐渓、鞍ヶ池公園、おいでんまつり、地酒、五平餅など紹介 <p><関連事業></p> <p>映像 4 作品合同 PR（「僕と彼女とラリーと」、「シキザクラ」、「神在月の子ども」）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映像作品展（令和 3 年 9 月 3 日（金）～令和 3 年 10 月 31 日（日）@中央図書館 企画展示コーナー） ・ツーリズムとよた HP にロケ地特設ページ掲載 ・とよた NOW で特集 <p>●市内外の多くの方に見ていただき、豊田市の魅力を発信、郷土愛の醸成を図ることができた。</p> <p>●制作支援を通じて、多くの市民・企業の方にご協力いただき、ロケ誘致が地域活性化に有効であることが確認できた。</p>
	
	

事業名	姉妹都市提携 60 周年記念イベント 【国際まちづくり推進課】
開催日・開催期間	(1) (2) 令和3年10月1日(金)～令和3年10月24日(日) (3) (4) 令和3年10月16日(土)
開催場所	(1) 豊田産業文化センターはじめ6か所 (2) ペDESTリアンデッキ (3) 豊田産業文化センター小ホール (4) (公財) 豊田市国際交流協会
	<p>豊田市とデトロイト市の姉妹都市提携 60 周年を記念し、以下の4事業を実施</p> <p>(1) デトロイト市の魅力や両市の交流の歴史を感じることができるスタンプラリーを開催。124人が参加</p> <p>(2) ペDESTリアンデッキに、豊田市・デトロイト市姉妹都市提携 60 周年記念ロゴのフラッグを設置</p> <p>(3) デトロイト市派遣学生第 1 期生で元在ドイツ日本国大使館特命全権大使の中根猛様を講師として、記念講演会を開催。54人が参加</p> <p>(4) 過去にデトロイト市との交流に参加した方々を招待して、交流会を開催。38人が参加。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●各事業を通して、豊田市とデトロイト市の姉妹都市提携 60 周年を広く周知することができた。 ●交流会では、同時期に派遣・受入をした人同士の横のつながりに加えて、多世代に渡る縦のつながりを構築することができた。今後の国際交流事業の担い手・協力者として活躍を期待したい。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>

事業名	豊田国際紙フォーラム 【小原支所】
開催期間	令和3年9月7日（火）～令和3年12月5日（日）
開催場所	能楽堂、とよしば、参合館アトリウム、喜楽亭、市民ギャラリー、民芸館、小原和紙のふるさと
	<p>「紙を通して創造するミライ」をキャッチコピーとして、豊田小原和紙の世界に向けた情報発信、国際交流、文化、産業の醸成を目的に展覧会やシンポジウムなどを開催。ほぼ全てのプログラムをオンライン配信した。</p> <p>【前期展覧会】 令和3年9月7日（火）～令和3年10月17日（日） IAPMA 展（世界のペーパーアート展）、日本の紙と世界の紙展</p> <p>【後期展覧会】 令和3年10月2日（土）～令和3年12月5日（日） 藤井達吉展、豊田小原和紙工芸会展、セレクト展、和紙の遺伝子展</p> <p>【シンポジウム】 令和3年10月9日（土） 伝統的和紙職人や先端技術の研究者など、4人の講演</p> <p>【紙市】 令和3年10月9日（土） ものづくりワークショップと紙や豊田の特産品を販売</p> <p>【IAPMA コングレス】 令和3年9月25日（土）、令和3年10月2日（土） 豊田小原和紙工芸作家のプレゼンテーションを ZOOM で実施</p> <p>【エクスカージョン】 令和3年10月8日（金）から配信開始 小原和紙工芸作家工房、展覧会、豊田市の魅力などをオンライン配信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 展覧会観覧者 16,909 人 ・ オンライン視聴者 10,000 人以上 <p>●新型コロナによる影響で延期や開催内容の変更があったが、多彩な海外作品の展示やオンライン配信により、当初目的である国際交流や情報発信において、来場者数や視聴回数等の結果から大きな成果があった。</p> <p>●多彩なペーパーアートや企画内容に対する高い評価に加えて、シンポジウム等を通じて紙の作品創作や素材そのものに対する可能性を示すことができた。</p> <p>●アンケートに豊田市の文化と海外の文化とのコラボレーションの機会を継続してほしいなどの意見が多く寄せられ、今後への期待を高めることができた。</p> <p>●紙フォーラムと連携したパートナーシップ事業（デカスプロジェクト、農村舞台アートプロジェクトなど）により、気運の醸成と相乗効果による事業振興を図ることができた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;">    </div>

事業名	食品ロス削減全国大会 【ごみ減量推進課】
開催日	令和3年10月30日（土）
開催場所	豊田市コンサートホール
	<p>大会テーマを「SDGsで考える食品ロスの削減」とし、生産、流通、消費などあらゆる立場から食品ロスについて考え、その削減に向けた行動につなげていく機会とすることを目的に開催。</p> <p><大会内容></p> <p>①基調講演「SDGsで考える食品ロスの削減」 講演者：FAO（国連食糧農業機関）日本担当親善大使 国谷 裕子 氏</p> <p>②トークセッション「身近にある食品ロス削減の視点」 コーディネーター：愛知工業大学教授 小林 富雄 氏</p> <p>③食品ロス削減の取組に関するポスター・ブース展示</p> <p>④消費者庁による食品ロス削減推進大賞表彰式 （会場観覧の他、オンラインでのライブ配信（WEB配信）を実施）</p> <p>・会場観覧者数：320人 WEB配信視聴者数：184人</p> <p>●参加者に対して、食品ロスの削減への意識を高め、「他人事」ではなく「自分事」として身近なことから食品ロスの削減につながる取組を進めていこうとする意識の醸成を図ることができた。</p> <p>●WEB配信を行うことで、会場観覧ができなかった市民だけでなく、多くの市外・他県の方にも、豊田市での食品ロスの削減の取組を発信することができた。</p> <p>●大会の開催を通じて、様々な企業・団体や国等の関係機関と交流ができ、今後の食品ロスの削減の取組を進めていく上での良い関係を構築することができた。</p> <div style="text-align: center;">  <p><全国大会の様子></p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;">    </div>

事業名	市制 70 周年記念事業「新・BS 日本のうた」公開収録 【経営戦略課】
開催日	令和 3 年 12 月 23 日 (木)
開催場所	市民文化会館 大ホール
	<p>70 周年記念事業として、誰もが楽しめる NHK 公開番組収録を誘致。市民はじめ多くの方に、音楽を楽しむ機会を提供。</p> <p><出演者> エドアルド、大江裕、真田ナオキ、竹島宏、辰巳ゆうと、徳永ゆうき、新浜レオン、パク・ジュニョン、二見颯一、松阪ゆうき ほか</p> <ul style="list-style-type: none"> ●市民はじめ多くの方に音楽を楽しむ機会を提供することができた。 ●全国から観覧者が集まり、主催者挨拶や観光パンフレット等の配布により市の魅力を PR、再来訪を促すことができた。 ●スタッフ、出演者等による市内宿泊等の経済効果を創出。 

事業名	豊田市郷土資料館特別展 はじめてのとよた史—『新修豊田市史』通史編刊行記念— 【文化財課】
開催期間	令和4年1月22日（土）～令和4年3月20日（日）
開催場所	豊田市郷土資料館
	<p>平成17（2005）年の市町村合併の翌年から開始された新修豊田市史編さん事業は、これまで概要版・資料編12巻・別編6巻を刊行し、令和元年度～2年度には通史編全5巻を刊行した。本展では、新修豊田市史編さんの過程で明らかになった事柄を踏まえ、市域の自然と歴史を取り上げる。</p> <p>また、本展を通じ、市民が市の歴史に関心を持つとともに、（仮称）豊田市博物館整備事業について知ることができる機会とする。</p> <p>・参加者数：1,762人</p> <ul style="list-style-type: none"> ●市民の郷土愛の醸成に貢献し、市域の自然・歴史の魅力を文化財とともに発信できた。 ●「伝百々古墳出土三角縁神獣鏡」（大阪歴史博物館蔵）について約100年ぶりの里帰り公開を実現したことに関連し、収蔵展示環境を整えた（仮称）豊田市博物館の整備事業に関する情報を発信できた。 <div data-bbox="411 1025 1182 1536" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="711 1550 1525 2092" data-label="Image"> </div>

■ 新型コロナウイルスにより中止になった事業

- ・ 東京 2020 大会コミュニティライブサイト
- ・ 愛知県民俗芸能大会
- ・ 北京 2022 冬季大会パブリックビューイング